

行政視察 小森 隆一 議員

日時: 令和6年2月5日(月)～2月7日(水)

場所: 愛知県小牧市、兵庫県明石市

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野駅～北千住駅	鉄道	往	79.0	920	1,050			1,970
北千住駅～名古屋駅	鉄道	往	377.0	6,380	4,720			11,100
名古屋駅～小牧駅	鉄道	往復	35.6	1,140				1,140
名古屋駅～明石駅	鉄道	往	249.7	4,510	3,730			8,240
明石駅～明石市役所前	バス	往復					460	460
明石駅～新神戸駅	鉄道	復	23.2	620				620
新神戸駅～北千住駅	鉄道	復	600.5	9,460	5,830			15,290
北千住駅～佐野駅	鉄道	復	79.0	920	1,250			2,170
計				23,950	16,580	0	460	40,990

宿泊料@16,500×2泊	33,000 円
交通費	40,990 円
(うち航空運賃)	0 円
計	73,990 円

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長 岩上 裕一

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

2024年02月04日
一連No0905
領収No0011

領 収 書

様

¥5,110-

(但し として、正に領収致しました)
印刷面を内側に折って保管願います

外税対象 10.0% ¥1,700
外税 ¥170

外税対象※8.0% ¥3,000
外税※ ¥240

消費税合計 ¥410

加藤米菓本店

栃木県佐野市久保町214
電話 0283-22-1554
登録番号 T8810857200181

5/10月÷3 = 1703円

加藤米菓本店

栃木県佐野市久保町214
電話 0283-22-1554
登録番号 T8810857200181

毎度ありがとうございます

2024年02月04日 10:31
0905

せん	2	点	01,500
べい	1	点	¥3,000
送	1	点	0800
料			¥800
送	1	点	0900
料			¥900
外			
税			
対			
象			
10.0%			
¥1,700			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥3,000			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥240			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			
外			
税			
対			
象			
8.0%			
¥410			

令和6年3月29日

佐野市議会議長 川 嶋 嘉 一 様

公明党議員会 小 森 隆 一

公明党議員会行政視察報告書

- 1 期 日 令和6年2月5日（月）～2月7日（水）
- 2 視察地及び視察事項
 - （1）愛知県小牧市
「こまきこども未来館運営事業について」
 - （2）兵庫県明石市
 - ①「市内全公立幼稚園給食実施について」
 - ②「中学校の給食無償化について」
- 3 参加者 木村久雄、菅原達、小森隆一
- 4 視察概要 別紙のとおり

小牧市視察概要

1 愛知県小牧市

小牧市の概要

(令和5年4月1日現在)

- ・人口 150,434人
- ・世帯数 69,348世帯
- ・面積 62.81 km²
- ・議員定数 25名
- ・現議員数 25名
- ・政務活動費 交付対象…会派（会派に属さない議員の職にある者を含む）
交付額…年額 300,000 円×所属議員数
交付方法…年度当初に一括交付

視察概要「こまきこども未来館運営事業について」

1. 目的

・こまきこども未来館は、小牧市が「こども夢・チャレンジNo.1都市」宣言のまちを掲げ、その理念を実現する施設として、「未来リテラシーを育む」というコンセプトのもと、子ども達にこれからの未来を力強く生き抜く力を育てる豊かな「学び」を提供し、小牧の子ども達やまちの「成長のシンボル」として、いつまでも愛される施設を目指している。今回現地見学を行い、未来を担う子どもの夢への挑戦を町全体で応援することで、こども中心に世代を越えて、市民がつながり、温かく支え合う、暮らしやすい魅力あるまちづくりについての参考とする。

2. 内容

(1) 「こまきこども未来館」概要

○コンセプト

・平成27年5月に「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」を行い、これまでの「充実した子育て環境」という強みをさらに強く進化させるべく、様々な取組みを検討する中、小牧駅前にある再開発ビルラピオの再構築にあたり、狭隘化が問題となっていた中部公民館内の児童センターおよび中央子育て支援センターの移転や、妊娠・出産・育児期に亘り、切れ目のない支援が必要であるとの観点から、「子育て世代包括支援センター」の設置などの検討を重ね、都市宣言の理念を実現する施設として、「こども未来館」を整備することとした。

○建設の経緯

・再開発ビルラピオの空床問題が深刻化したことを受けて、小牧駅東側に新図書館を建設するという新図書館建設方針案と併せ、ラピオに「子育て支援の拠点」と「こどもが主役となる拠点」の2つの拠点を整備する多世代交流プラザとして再構築し、令和4年3月にオープンした。

○整備にあたって

・整備にあたっては、基本構想から設計、運営に至るまで、複数回のワークショップを開催し、様々な世代の市民や有識者などからの意見をお聞きしながら計画に反映してきた。

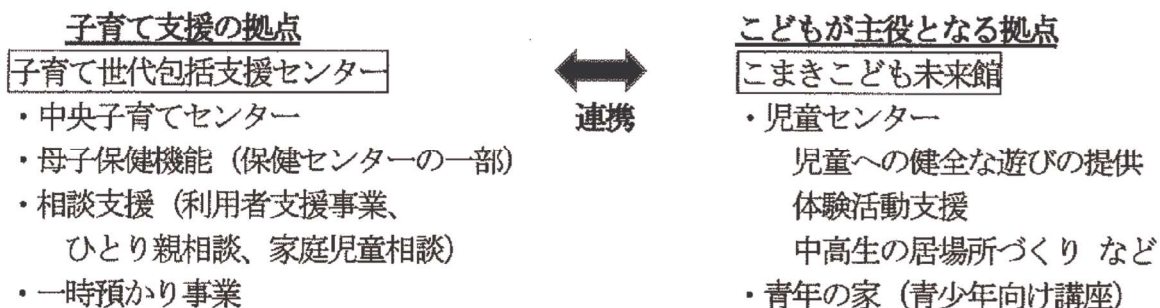
○施設概要

・こども未来館は、小牧市の子育て支援の中核施設として、「こどもの夢への挑戦を応援する施設」、「こどもを中心に世代を越えて市民がつながる施設」、「子育て・子育ての中核となる施設」を目指し、地域のサポーターや企業、学官連携によりデジタルコンテンツ等を整備した大学などと協力し、学校や家庭では体験できない様々な「遊び」や「体験」を提供している。子ども達が楽しみながら、それぞれの「学び」を見つけることができる、中央児童館でもある。

・こどもの成長をイメージした2階から4階にわたる巨大シンボルツリー（ネット遊具）をはじめ、アスレチックやボルダリングなど体を使って遊ぶ「遊びひろば」や、ワークショップや新しい学びが見つかる講座をとおして、『みつける、つくる、つたえる』をテーマに、ここでしか経験できない様々な体験ができる「体験ひろば」、未就学のこどもとその保護者が安心して過ごせる「ニコニコひろば」、中高生をはじめ様々な年代が交流できる「交流ひろば」、親子や友だち同士でゆっくり過ごせる「児遊ひろば」の5つのエリアで構成されている。

・また、こども未来館で行う講座についても、市民ワークショップにより様々な意見をまとめ、本市の中央児童館として、こどもの健康増進や情操豊かにするだけでなく、「また来なくなる未来館 ～未来リテラシーを育む～」というコンセプトを作り上げ、学校や家庭では経験できない様々な遊びや体験を通してこども自身の学びにつなげ、これからの未来を力強く生き抜く力を育てる施設を目指している。

・基本は「児童館」でありながら「子育て世代包括支援センター」が併設され、「えほん図書館」「一時預かり」「音楽スタジオ」「ダンススタジオ」などの様々な機能が盛り込まれ、多世代の市民に愛される交流プラザになっている。



○地域との連携

・「こどもを中心に世代を越えて、市民がつながる」施設を実現するため、地域住民をはじめ、企業や団体、近隣の大学などと積極的に連携している。

①こまきこども未来館サポーター

・個人や団体、企業など、性別や年齢、国籍を問わない登録制のボランティア。見守りや講座の準備や資材の提供や植物のお世話など、様々な関わり方で見守っている。

②こまきこども未来大学

・SDGs未来都市として、小中学生を対象に、自分のやりたいことや将来の夢を見つけ、その夢をみんなで応援するために、企業や市民活動団体から、社会やSDGsのことを学ぶ講座を実施している。

③みんなで育てようワークショップ

・こども未来館をみんなでより良い場所に育てるために、こども未来館を利用する児童や保

護者、未来館サポーターに加え、大学教授や教員OBなどの有識者にも参加いただいて、楽しみ方や関わり方、今後の提案についての話し合いを毎年開催している。

④近隣大学との連携

・体験活動のコンセプトである「未来リテラシーを育む」や、市民ワークショップで意見のあった最先端技術などの『本物に触れる機会』の実現にあたり、近隣大学（中部大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学）の学生を中心に、各大学の得意分野を生かしたコンテンツ開発を進め整備すると共に、名古屋経済大学と連携し、安全性に配慮した環境整備を実施した。

（２）視察に関する質問事項

- ①施設の設置の目的及び経緯について
- ②施設の設置に対する市民の評価と対応について
- ③施設の設置の費用対効果について
- ④施設の特徴と利用状況について
- ⑤施設の設置における課題と今後の横断的な取り組みについて
- ⑥施設に「学びの要素」を盛り込むポイントについて

（３）視察に関する質問事項への回答

・別紙参照

3. 所感

・『こまきこども未来館』は、ラピオという商業施設の２階から４階部分を市が借り上げ、いわば児童館的な機能を有している複合施設である。

・２階は卓球やビリヤード、ボードゲームなど誰でも楽しめるゲームなどが用意され、音楽スタジオやダンススタジオ、読書、勉強スペースもあり、印象としては中高生の居場所のような感じで、３階はアスレチックやデジタル技術を利用した双方向の遊び体験など、小学生がメインターゲットのようである。

・４階は親子で利用するボルダリング、ボールプール、えほん図書館などが配置され、未就学の親子が安心して遊べるフロアになっているが、注目したいのは、このフロアに「子育て包括支援センター」が配置されていることである。遊び場のすぐ横で、子育て相談や産前産後ヘルパー事業、低体重児の届出、産後ケア事業、子ども一時預かり事業、ファミリー・サポート・センターなどの利用申請が可能となっているため、小さなお子さんを抱えた親御さんの安心感は大きく、また親御さん同士での交流も図れると感じた。

・そして１階部分はそのまま商業施設として機能しており、フードコートもあり、駐車場は地下１階にあるので、雨でも濡れずに利用できるところがポイントであり、駐輪場のスペースも大きく確保されていた。

・また、この建物のすぐ隣がカフェ併設の中央図書館ということも子どもたちを含めた市民にとってはうれしいところではないでしょうか。利用者アンケートで99%が「また来たい」と回答している、との説明に納得した。

・さらには、受付と講座を外部に委託する以外は市の直営で、児童厚生員を18名配置するなど、子育てに“本気”で臨む行政の姿勢を学ばせていただいた。

・佐野市においても、今すぐには言わないまでも、そしてここまでの規模ではなくても、子どもたちの多様化に併せて、さまざまな遊びや体験を通して、楽しみながら、こども自身

の学びを見つけられる施設、そして、こどもの安心できる居場所として、「新・子どもの屋内遊び場」の設置が必要であると痛感し、とても参考になった。

明石市視察概要

2 兵庫県明石市

明石市の概要

(令和5年7月1日現在)

- ・人口 305,498 人
- ・世帯数 136,948 世帯
- ・面積 49.42 km²
- ・議員定数 30 人
- ・現議員数 30 人
- ・政務活動費 交付対象…会派（会派に属さない議員の職にある者を含む）
交付額…年額 960,000 円×所属議員数
交付方法…年度 4 半期毎に交付

視察概要「①市内全公立幼稚園給食実施について」

「②中学校の給食無償化について」

1. 目的

- ・明石市が進める「こどもを核としたまちづくり」の中心を担うのが、子育て支援の5つの無償化である。子育てにかかる経済的な負担の軽減は、人口増加につながっており、親の所得に関わらず、すべての子どもたちにサービスを届けるため、所得制限はなしとしている。
- ・当初は、五つの無償化など子育て施策全般を伺いたかったが、事業が多岐にわたるため全部は難しいとの事で、今回は、五つの無償化の中の「中学校の園給食費の無償化」および「全公立幼稚園給食の実施（一部無償化）」に限って視察調査を行い、佐野市での今後の給食無償化を進める上での参考とする。

なんでもそうですが、財源をいかに確保するかが問題で、政策全般を見直す中で、子育ての充実と人口増加に繋がる政策を優先していければと思います。

2. 内容

2-1 視察に関する質問事項

(1) 市内全公立幼稚園給食実施について

- ①実施の経緯と効果について
- ②実施に対する反対意見について
- ③無償化により得られた効果について

(2) 中学校給食無償化について

- ①小学校と中学校の給食費における無償化の考え方について
- ②給食実施率及び、無償化による未実施校との平等性の考え方について
- ③給食費無償化における学校給食法第11条の解釈について

(3) 未来の子どもたちの為に無償化に踏み切った経緯について

- (4) 無償化を推進する上での財政面への影響について
- (5) 無償化による少子化対策へのプラスの効果について

2-2 「市内全公立幼稚園給食実施について」

(1) 明石市立幼稚園の現状

①市内1小学校区1幼稚園（全28校区）

- ・全28校区で27園が幼稚園型認定こども園（令和6年4月～）
- ・1園が幼保連携型認定こども園（平成28年4月に保育所と幼稚園が一体となり運営）

②園児数の推移

- ・平成30年度まで園児数は現象傾向にあったが平成31年度から園児数は増加に転じている。

(2) 幼稚園給食

①実施の経緯

・明石市では、これまで待機児童の解消に向けて、今後の保育ニーズに対応できる受入枠の拡充を図っていたが、さらなる待機児童対策を図るため、3歳以降の受入先として市立幼稚園が選ばれやすくなるよう、令和2年9月から全27園で給食を開始した。

②実施方法

- ・民間業者が運営する給食センターからの搬入方式
- ・給食は全員一律ではなく、希望性
- ・給食費は、保育所と同様に、おかず部分（副食費相当額）は無償（市単独事業）とし、月額で主食費相当額を徴収

③効果

年 度	令和4年度	令和5年度
申込率	88.4%（令和5年3月）	90.9%（令和5年11月）

- 給食の申込率が年々増加している。

④反対意見について

- 反対意見は特にない。

⑤要望について

- 安全、安心に給食を提供する取組みが要望されている

- ・プロポーザルによる契約業者の選定
- ・給食委員会（年3回）による情報共有
- ・異物混入への対応
- ・保護者参加による試食会
- ・アンケートの実施
- ・給食だよりの毎月発行
- ・サイクル献立の実施

⑥無償化により得られた効果について

- 園児数の増加、保護者の負担軽減に繋がっている。

2-3 「中学校の給食無償化について」

(1) 事業

①概要

- ・保護者が負担する学校給食費を市が補助することで無償化するものである。

②趣旨・目的

- ・中学校給食無償化事業は「こどもの夢」と「心身の健やかな成長」を社会全体で応援する取組の一環として、特に教育費の負担が大きい中学生のいる世帯について負担軽減を図ることと、子育て支援および教育環境の充実に資することを目的としている。

- ・この事業をとおり、「こどもを核とするまちづくり」「誰にでもやさしいまちづくり」をさらに推進し、これまでのまちの好循環の持続・拡大を図っている。

③財源

- ・中学校給食無償化事業は、国の幼児・保育の無償化に伴い軽減された市の財政負担額の一部である。明石市では、平成28年9月から子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、第2子以降の児童が保育所や幼稚園を利用する場合の無料にしていたが、令和元年10月から国の幼児教育・保育の無償化が開始された。

- ・それによって、軽減された市の財政負担額の一部を活用して、中学校給食無償化を令和2年4月より開始した。

④予算額（令和5年度）

- ・中学校給食無償化事業補助金 3億3,500万円

- ・補助対象生徒数見込み 6,300人

⑤対象者

- ・明石市立中学校および明石市立養護学校（中学部）に在籍する生徒で、所得制限を設けない。

- ・当該生徒が食物アレルギーのため、給食を一切喫食できない場合は、その保護者を補助対象者として、実施した給食回数に応じて補助金を交付

（2）視察に関する質問事項への一部回答

①小学校と中学校の給食費における無償化の考え方について

- ・小・中学校全体を無償化するには、財源として約9億円必要であり、直ぐにの捻出は難しい。

- ・そのため、中学生の方がお金がかかる傾向があるので、まずは、中学生のいる家庭の負担軽減を図ることとし、小学校については実施に至っていない。

②給食実施率及び、無償化による未実施校との平等性の考え方について

- ・本市中学校において、未実施校はない。

3. 所感

- ・今回の視察において、給食の実施効果と無償化効果が大きいことを確認し、何を最優先課題とし、財源をいかに確保するかが重要であることを再認識した。

- ・その中で学校給食は、未来を担う子どもたちの健やかな成長に欠かせないと思う。そして、少子化の進行とともに子どもを取り巻く環境は大きく変化している中、子どもたちの健全な成長と、そのために必要な安心で充実した食の環境の確保について社会全体で取り組んでいく必要があると考える。

- ・文部科学省が実施した令和3年度子供の学習費調査によると、公立学校に通う小・中学生の保護者が学校教育のために支出した経費のうち学校給食費は小学校で約4～5割、中学校で約3割を占めており、保護者の負担は大きいものとなっており、小・中学生を育てる保護

者の負担軽減は今後不可欠であると考える。

- ・佐野市においても政策全般を見直す中で、子育ての充実と人口増加に繋がる政策を優先していければと思うと共に、先ずは、中学校給食無償化だけでも先行しての実施を要望したい。